

実践女子大学・実践女子大学短期大学部

教員研修 成果報告書 (Web 公開用)

1. 所属	人間社会学部 現代社会学科
2. 職名・氏名	准教授 蔣 飛鴻
3. 研修期間	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日
4. 研修先機関 (国名)	中央財經大学 (中国)
5. 研修課題名	会計基準の国際的統合と会計文化との関係性
6. 研修経過 (月単位で記載してください)	<p>2019年4月から2020年3月までの1年間、実践女子大学の平成31年度在外研修制度により中国北京にある中央財經大学に滞在した。</p> <p>経済活動の急速なグローバル化、会計基準の国際化の進みに伴い、近年中国では国際会計基準へコンバージェンスしようとする動きが加速化されている。会計基準の国際的コンバージェンスの進行につれ、会計情報と資本市場との関連性を検証する研究について多くの研究が実施されたが、一致した結果が得られていない。したがって、今回の研修の目的は、中国会計基準の国際化の進展および現状についての調査と研究であり、とくに日本ではなかなか収集できない企業の情報を収集・分析することによって、会計基準のコンバージェンスの状況を把握することに焦点を当てた。</p> <p>研修先の中央財經大学は北京市の中心部にある海淀区に位置しており、周辺には北京大学、清華大学、北京言語大学など多くの大学が隣接している。1949年に設立され、5つの学部と9つの学科を有しており、経済学と管理学が中心の学科体系に強みと特色をもち、保険学、法律学、財政学、金融学、会計学などの国家重点科目を有している。</p> <p>4月上旬～5月下旬：資料収集 6月上旬～7月下旬：資料の整理および論文の作成 8月上旬～9月下旬：資料の整理および論文の作成 10月上旬～11月下旬：資料収集 12月上旬～1月下旬：資料収集 2月上旬～3月下旬：資料の整理および論文の作成</p> <p>資料の収集が本格的に始まった頃に、中央財經大学の図書館には人文・社会科学系の専門書・基本書および雑誌などを数多く所蔵し、電子ジャーナルが特に充実していることが分かった。膨大な資料とデータを前に、最初はどこから手をつけ、収集したほうがよいのかとまどったが、自分の研究課題に的を絞ることで、調査を行うことにした。</p> <p>今回の研修は、資料の収集だけでなく、現地での指導教授や中央財經大会計学院の先生方を訪ねて話をうかがい、現況の調査も並行して行った。それによって、中国会計基準の国際会計基準へのコンバージェンスの状況をより深く理解することができた。</p>

<p>7. 本研修で得られた成果等（論文・学会発表含む）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「業績予測の変動に対する「企業努力」－利益予測値を達成させるための利益平準化」『産業経理』第79巻第2号（共著） 2. 「中国版 IFRS の適用と利益の質に関する実証研究」『曾計』第196巻第5号 3. 「日本管理会計的发展歷程对我国的启示」『财会月刊』へ投稿済（共著 中国語）
<p>8. 所感</p>	<p>今回の研修を通じて、日本では入手できない資料を収集することができた。また、現地での生活を通じて、短期滞在では得られにくい、日本との相違についての理解を深めることができた。そして環境や歴史が会計基準の形成にどのような影響を与えているのかがはっきり見えてきた。これにより、今後の研究にとって非常に重要なヒントが得られた。</p> <p>また、文献研究では得られにくい、限られた内容しか伝えられないことを、教育の現場を見せてもらったり、現地の研究者や学生との交流をしたりすることによって、あらためて理解できたこともよい経験となった。その経験が今後さまざまなことを考えるきっかけにもなると期待できる。</p>